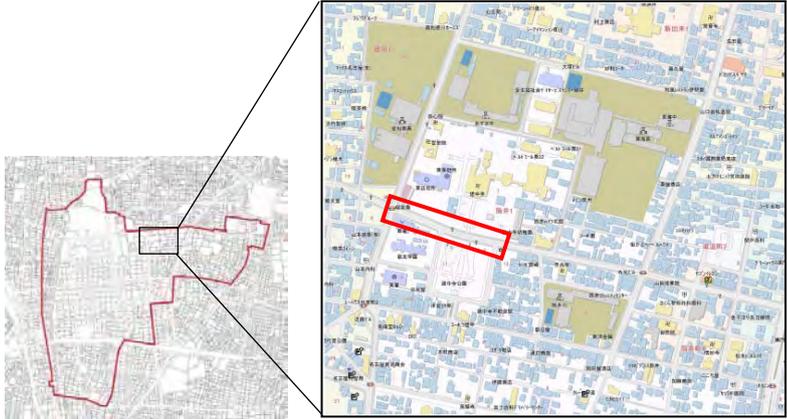
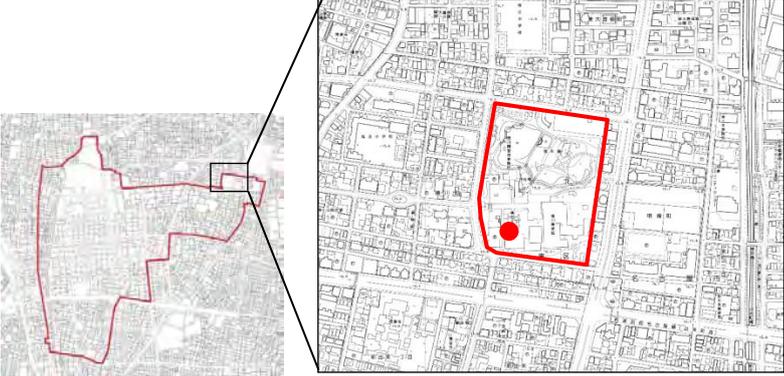
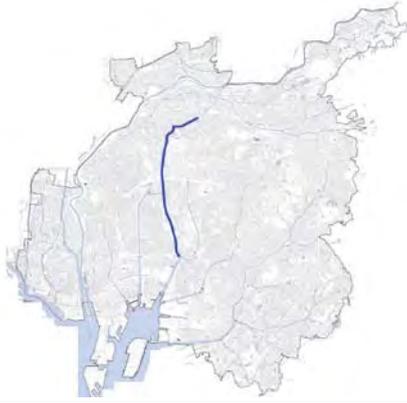


事業名	建中寺前無電柱化事業（市道 平田黒門町線 無電柱化事業）
整備主体	名古屋市
支援事業名	防災・安全交付金（道路事業）
事業期間	平成 26 年度～平成 29 年度
事業位置	<p>建中寺周辺（重点区域：名古屋城周辺地区）</p> 
事業概要	<p>天王祭などで山車が曳き出される東区筒井地区において、歴史的建造物である建中寺三門周辺の電柱・電線を地中化することで、祭りの背景となる歴史的建造物周辺の景観を向上させる。</p> <p><b>【整備概要】</b>  道路延長：約 170m  平成 26 年度：設計等  平成 27 年度～29 年度：工事</p>  <p style="text-align: center;">建中寺三門</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>建中寺は、尾張徳川家の菩提寺であり、周辺には江戸時代後期以降にこの地に移ってきた山車が多く残る。これらの山車は、地元の天王祭に曳き出されるほか、10 月に行われる東区区民まつりでは、建中寺三門前が山車揃えの会場になる。</p> <p>建中寺三門周辺の電柱・電線を地中化することで、山車と歴史的建造物とが織りなす景観の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	徳川園の管理運営
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 16 年度～
事業位置	<p>東区徳川町（重点区域：名古屋城周辺地区）</p>  
事業概要	<p>徳川園は、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とし、昭和 6 年（1931 年）、邸宅と庭園が十九代当主義親から名古屋市に寄付された。戦災などを経て、市では平成 13 年から再整備を行い、平成 16 年秋に日本庭園としてリニューアルした。</p> <p>園内には、二代藩主光友（瑞龍院）や「虎狩りの殿様」と呼ばれた十九代当主義親にちなみ、「龍仙湖」、「瑞龍亭」、「虎仙橋」などの名所がある。</p> <p>今後も歴史文化拠点として、隣接する名古屋市蓬左文庫、徳川美術館（徳川黎明会）とともに近世武家文化を国内外に発信していく。</p>  <p>徳川園山車揃え</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>徳川園では、毎年 6 月に行われる筒井町と出来町の天王祭にあわせて 5 輦の山車揃えが行われており、名古屋城下の華やかな祭りを現代に再現する場となっている。また、名古屋市蓬左文庫、徳川美術館には、尾張徳川家に伝来した貴重な書跡・典籍や美術品が収蔵・展示されている。徳川園を良好に管理運営していくことで、歴史的建造物の保全と活用が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

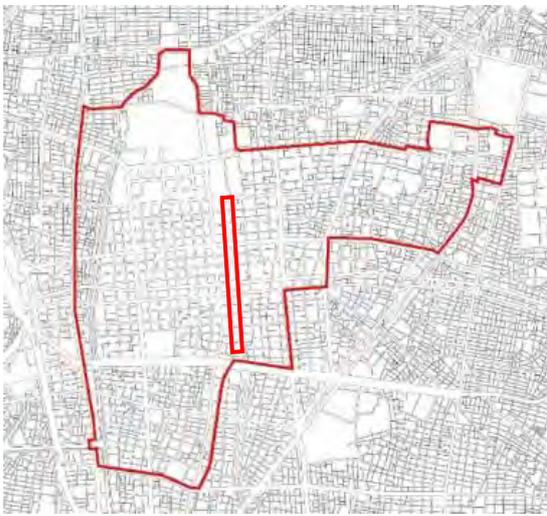
事業名	蓬左文庫の保存と公開活用
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 16 年度～
事業位置	<p>東区徳川町（重点区域：名古屋城周辺地区）</p> 
事業概要	<p>蓬左文庫は、昭和 25 年（1950 年）、尾張徳川家より名古屋市が購入し、既に同家から昭和 6 年に寄付されていた現在地で公開が開始された。平成 16 年には、大名文化の発信施設としてリニューアルオープンした。</p> <p>蓬左文庫には、家康から尾張藩初代義直に譲られた駿府御讓本をはじめ、歴代藩主が蒐集した内外の書籍や絵図類が 11 万点も収蔵され、わが国屈指の公開文庫として著名である。また藩主の御道具類を収蔵展示する徳川美術館が隣接して建ち、一帯は、武家文化を体感できる貴重な歴史文化拠点となっている。</p> <p>今後も、これらの貴重な文化財を適切に保存管理し、近世武家文化発信の中核拠点となるよう、資料の公開活用を積極的に推進していく。</p>  <p style="text-align: center;">蓬左文庫</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>蓬左文庫の所在する徳川園では、毎年行われる筒井町と出来町の天王祭にあわせて 5 輦の山車揃えが行われており、名古屋城下の華やかな祭りを現代に再現する場となっている。この地で尾張徳川家に伝来した貴重な書跡が収蔵・展示されている蓬左文庫を公開活用していくことで、市民等の歴史的風致に対する認識が高まり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	堀川の総合整備
整備主体	名古屋市
支援事業名	防災・安全交付金（流域治水対策河川事業）
事業期間	昭和 61 年度～
事業位置	<p>北区（猿投橋）～熱田区（新堀川の合流点）※治水対策区間</p> 
事業概要	<p>名古屋市では、これまで、「堀川総合整備構想」や「堀川圏域河川整備計画」などに掲げた方針に基づき、計画的に護岸などの整備を進めてきた（治水対策区間延長 10.3km、平成 24 年度末現在の整備率約 5 割）。平成 24 年には、「堀川まちづくり構想」が策定され、民産学官の協働によって、堀川に賑わいを創出し魅力発信するまちづくりの指針を示している。</p> <p>今後は、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。</p>  <p style="text-align: center;">堀川</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>堀川は、名古屋城築城に合わせて開削され、以来 400 年間にわたり名古屋の歴史とともに歩んできた。沿川には四間道町並み保存地区をはじめとする歴史的資産が残るとともに、都心における貴重な水辺の景観を形成している。また、流域治水対策河川事業により、堀川の治水安全度を向上させ、歴史的資産を洪水被害から守る。堀川を軸にしたまちづくりを進めることで、築城以来の名古屋の歴史を再認識することになり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	尾張名所図会看板の整備
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 24 年度～
事業位置	<p>熱田界限（重点区域：熱田地区）など</p> 
事業概要	<p>市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。</p>  <p>看板イメージ</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>熱田は、熱田神宮、湊、台地からの眺めなど風情ある景観を形成してきた地域である。尾張名所図会のような視覚的に旧景を紹介する看板を設置することで、熱田の歴史に関する人々の関心が高まり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	「歴史の里」整備事業（全体ネットワーク化事業）
整備主体	名古屋市
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）、文化財保存事業費関係国庫補助
事業期間	平成 26 年度～平成 29 年度
事業位置	<p>守山区上志段味（重点区域：志段味地区）</p> 
事業概要	<p>守山区上志段味地区に残る志段味古墳群を、河岸段丘などの自然景観とともに保存・活用を図る。</p> <p>この志段味古墳群内に大塚・大久手古墳群地区をはじめとする拠点地区を設定するとともに、各拠点地区や周辺施設を結び、「歴史の里」全体のネットワークルートを設定する。</p> <p>各地区内には、歴史や自然を学ぶことができる古墳等の説明板などを設置するとともに、各地区を結ぶルートや周辺施設の適所に「歴史の里」案内板、サイン等のネットワーク化のための設備を設置する。</p>  <p style="text-align: right;">歴史の里めぐり案内板（現行）</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>「歴史の里」整備事業（全体ネットワーク化）によって、各拠点地区や周辺施設を結びネットワーク化を図ることで、名古屋のルーツ尾張氏ゆかりの地ともいべき志段味の地の歴史的・文化的な魅力の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	中川運河の再生
整備主体	名古屋市、名古屋港管理組合
支援事業名	防災・安全交付金（港湾改修事業、緑地等施設整備事業） ※堀止緑地の整備について
事業期間	平成 24 年度～（堀止緑地の整備は平成 28 年度までを予定）
事業位置	<p>港区～中村区</p>  <p>中川運河の位置</p> <p>堀止の位置</p>
事業概要	<p>名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えしてきた中川運河の歴史的役割を尊重しながら、都心と名古屋港を結ぶ広大な水辺に新たな価値や役割を見出し、うるおいや憩い、賑わいをもたらす運河への再生を目指す。</p> <p>中川運河の最北端に位置する堀止船だまりは、かつては物資を積み下ろす多くの船が集まった場所である。水辺空間を活用した都心域にふさわしい親水緑地として、平成 28 年度の完成に向けて、「中川運河堀止緑地」の整備を進めている。また、中川運河全線において、老朽化した護岸の改修を行っている。さらに、物流形態の変化に伴い閉鎖された中川運河と堀川を結ぶ松重閘門の再生を目指す。</p>  <p>中川運河</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>中川運河は、近現代の名古屋の物流を支えた産業遺産であるとともに都心近くの貴重な水辺として市民に親しまれている。堀止緑地の整備や護岸改修、松重閘門の再生など、中川運河の再生を図る事業を行うことで、大都市名古屋の発展過程に由来する歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	栄地区まちづくりプロジェクトの推進（久屋大通公園）
整備主体	名古屋市、民間事業者、地元団体等
支援事業名	市単独事業 ※社会資本整備総合交付金（都市公園事業）の活用を検討
事業期間	平成 26 年度～
事業位置	<p>久屋大通公園（重点区域：名古屋城周辺地区）</p> 
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備</li> <li>・沿道との一体化を図る空間形成</li> <li>・北から南まで一体的に活用できるような空間の形成</li> <li>・広域避難場所としての防災機能強化</li> <li>・民間の経営感覚を活かした、効率的で質の高い公園整備・管理運営</li> </ul>  <p style="text-align: center;">久屋大通公園</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>久屋大通公園は大胆な戦災復興計画により形成された 100m 道路と一体となった公園であり、名古屋の都心部を代表するシンボル空間として親しまれている。</p> <p>このような歴史を持つ久屋大通公園のさらなる魅力向上は、名古屋の特徴である戦災復興の歴史を現代に伝えることにつながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>



事業名	史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	昭和 39 年度～
事業位置	名古屋市内 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 史跡名勝標札：市内 295 カ所</li> <li>・ 史跡散策路：市内 80 コース</li> <li>・ 市が設置している歴史関係の案内板</li> </ul>
事業概要	<p>市内の史跡・名勝や歴史的建造物について解説する史跡名勝標札を設置するとともに、地域の歴史や文化を身近に体感する史跡散策路を設定し、コースを案内する案内板、誘導板を設置し、地域にある身近な文化財について関心を持っていただけるようにしている。</p> <p>また、市が道路、河川、公園といった公共施設や観光推進といった施策に関連して設置している歴史関係の案内板の一体的な活用を図る。</p>
	
	史跡名勝標札
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整えることで、市民等の歴史的風致に対する認識が高まり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

### ③建造物や周辺環境を支える仕組みに関する事業

事業名	歴史的建造物の登録・認定
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 23 年度～
事業位置	市内全域
事業概要	<p>名古屋市では、都市景観条例に基づき、一定の地域における都市景観の形成上、歴史的又は文化的価値があると認める建築物、工作物その他の物件を登録・認定地域建造物資産として、登録・認定している。</p> <p>登録・認定地域建造物資産は、所有者の同意を得たうえで、市ウェブサイトなどで公開するとともに、保存活用に向けた支援策として、技術的支援、経済的支援の制度を設けている。</p> <p>技術的支援…（公財）名古屋まちづくり公社が派遣する「名古屋歴史的建造物保存活用推進員（なごや歴まちびと）」による無料相談</p> <p>経済的支援（認定地域建造物資産のみ） …改修工事などの工事助成</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>市内に残る身近な歴史的建造物を登録・認定することにより、所有者や使用者または地域においてその価値が検証され、身近な歴史的建造物を大切にし、みんなで守っていくという機運の醸成や風土づくりにつながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	なごや歴まちびとの派遣
整備主体	(公財)名古屋まちづくり公社
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 23 年度～
事業位置	市内全域
事業概要	<p>地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者を技術的に支援する制度として、(公財)名古屋まちづくり公社では、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと、平成 25 年 4 月 1 日現在 55 名)を養成・登録し、所有者からの申請に基づいて派遣を行っている。</p> <p>&lt;技術的支援の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①所有者等の意向把握</li> <li>②地域建造物資産の実測などの調査</li> <li>③図面の作成</li> <li>④補修の必要性・方法、耐震診断、活用方法などに関する助言・指導</li> <li>⑤その他必要な技術的支援</li> </ul> <p>名古屋まちづくり公社は、派遣されたなごや歴まちびとに対して報酬を支払う。</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的建造物を残したいが、修理の方法や相談する相手が分からない、といった所有者の要望にこたえるしくみを整えることで、歴史的建造物の適切な修理・保存につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

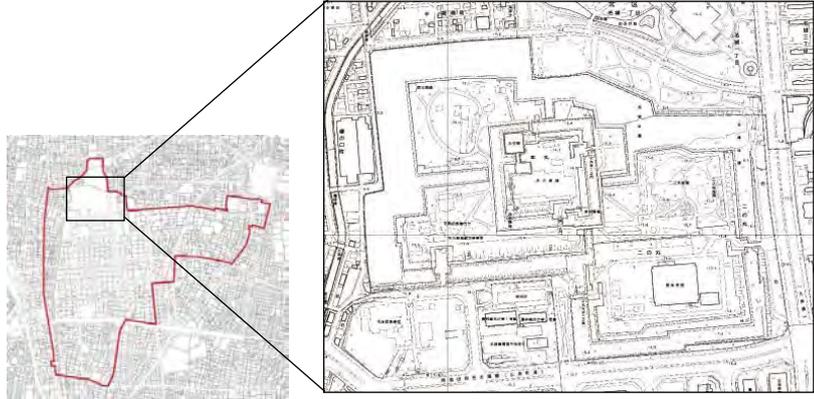
事業名	文化のみちの推進
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 11 年度～
事業位置	<p>中区・東区の一部（重点区域：名古屋城周辺地区）</p> 
事業概要	<p>名古屋城から徳川園に至る一帯は、名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的遺産の宝庫ともいえる地区である。市では、この地区一帯を「文化のみち」として育み、貴重な建築遺産の保存・活用を進めている。</p> <p>文化のみち二葉館、文化のみち榎木館を資料展示・文化活動などの拠点施設として、指定管理者制度によって管理運営するとともに、旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸などの歴史的建造物の保存・活用を行っている。</p> <p>また毎年、11月3日に「歩こう！文化のみち」として、文化のみちにある歴史的建造物や各種施設、寺社などで様々な催し行っており、今後もこうしたイベントを通して建築遺産の保存・活用についての市民意識の高揚や文化活動の促進につなげていく。</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>文化のみちは、名古屋城東側の旧武家屋敷地の地割を残す白壁・主税・榎木町並み保存地区を中心に、その周辺の歴史的建造物を多く含む地域である。「文化のみち」の取り組みを進め、歴史まちづくりの機運を醸成することは、これらの貴重な歴史的建造物を保存・活用にもつながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	「歴史の里」整備事業（公開活用事業）
整備主体	名古屋市
支援事業名	文化財保存事業費関係国庫補助
事業期間	平成 26 年度～平成 30 年度
事業位置	<p>守山区上志段味（重点区域：志段味地区）</p> 
事業概要	<p>守山区上志段味地区に残る志段味古墳群を、河岸段丘などの自然景観とともに保存・活用を図る。</p> <p>各拠点地区とネットワークルートを活用して、ウォーキングイベント、ものづくりや宿泊など各種体験学習講座、地元の祭りや連携した古墳まつりなどのソフト事業を展開する。</p> <p>また、古墳や自然を紹介するガイドボランティアを養成し、ソフト事業において活用する。</p>  <p style="text-align: center;">ガイドボランティアによるガイド</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>「歴史の里」整備事業（公開活用事業）によって、各種ソフト事業を展開することで、名古屋のルーツ尾張氏ゆかりの地ともいべき志段味の地の歴史的・文化的な魅力の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

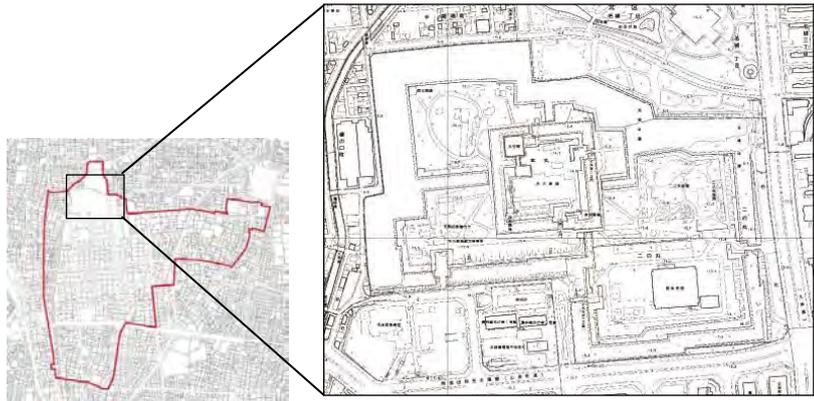
事業名	指定文化財（建造物・史跡等）の保存修理事業
整備主体	国、愛知県、名古屋市、所有者
支援事業名	市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費
事業期間	昭和 47 年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について補助金を交付する。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	指定文化財の保存修理を補助することで、歴史的建造物や史跡といった地域の貴重な文化財の保存が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

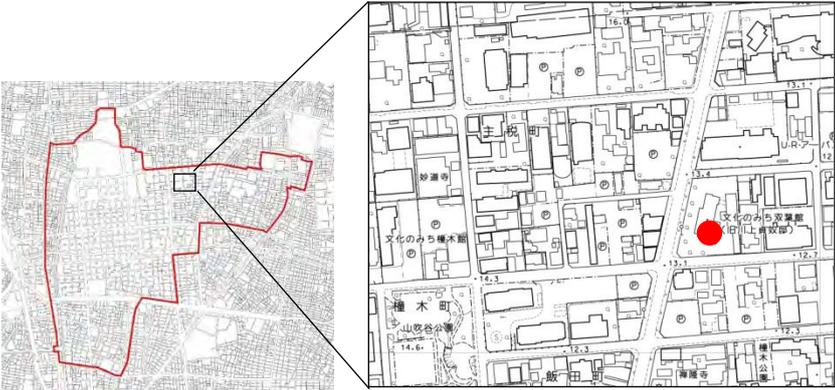
事業名	まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成24年度～
事業位置	市内全域
事業概要	<p>地域にある歴史や文化などの魅力を活かした、地域によるまちづくりが必要となっている。</p> <p>そのため、地域で活動する多様な主体（住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等）が集まり、まちの将来像を話しあうまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく、地域まちづくりを支援していく。</p> <p>なお、地域まちづくりを推進するため、サポート制度を用意している。</p> <p>&lt;地域まちづくりサポート制度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域まちづくりアドバイザー派遣</li> <li>・地域まちづくり活動助成</li> <li>・地域まちづくりコンサルタント活用助成</li> </ul> <p>&lt;既に発足したまちづくり協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四間道・那古野界隈まちづくり協議会</li> <li>・荒子の里協議会</li> </ul>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>地域まちづくりを進めることで、地域で大切にされてきた歴史的建造物や、地域の歴史とともに育まれてきた伝統的な営みが、地域の資産として、地域住民の主体的なまちづくりの中でこれまで以上に活かされることになり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

④歴史的風致の普及啓発及び活動支援等その他のソフト事業

事業名	名古屋城本丸御殿障壁画復元模写
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成4年度～
事業位置	<p>名古屋城内（重点区域：名古屋城周辺地区）</p> 
事業概要	<p>本丸御殿の内部を絢爛豪華に飾っていた障壁画は狩野派の絵師たちによって描かれたもので、昭和20年の焼失直前に本丸御殿から取り外された1,047面の障壁画は現在、国の重要文化財に指定されている貴重な財産である。</p> <p>この障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。</p>  <p style="text-align: center;">制作の様子</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>本丸御殿創建当時の色彩を再現する障壁画復元模写を行い、完成した本丸御殿に取り付けることで、本丸御殿の価値を一層確かなものとし、市民の新たな誇りが創出されるなど、名古屋城の歴史的魅力的向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>



事業名	名古屋城本丸御殿障壁画保存修理
整備主体	名古屋市
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金
事業期間	昭和 61 年度～
事業位置	<p>名古屋城内（重点区域：名古屋城周辺地区）</p> 
事業概要	<p>昭和 20 年の焼失直前に本丸御殿から取り外され、戦火を免れた 1,049 面の障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、重要文化財の保存・継承を図る。</p>  <p>竹林豹虎図（玄関一之間東側襖絵）</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>重要文化財である障壁画の保存修理事業を行い、貴重な文化財を保存・継承することにより、名古屋城の歴史的魅力的向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

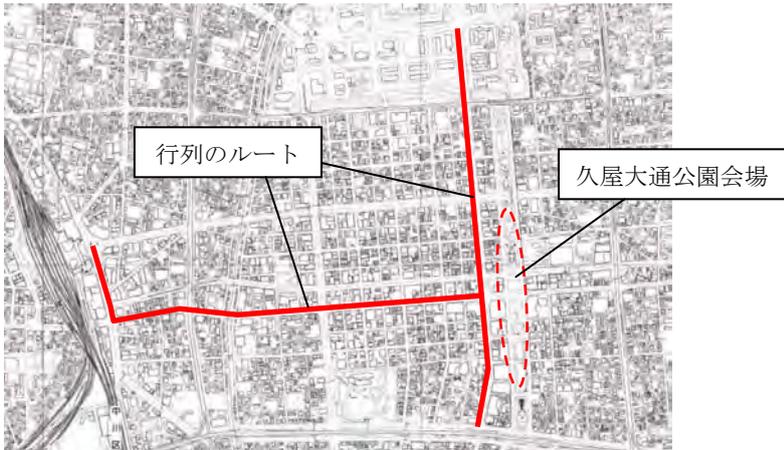
事業名	郷土ゆかりの文学資料室
事業主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 17 年度～
事業位置	<p>文化のみち二葉館（重点区域：名古屋城周辺地区）</p> 
事業概要	<p>郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館（旧川上貞奴邸）の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。</p>  <p>館内に再現された故城山三郎氏の書齋</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>文化のみち二葉館は、近代建築の集積する白壁・主税・榑木地区の一角に、平成 17 年に移築復元され、文化のみちの拠点施設として活用されている。文化のみち二葉館で、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことで、市民等の歴史的風致に対する認識の向上につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	水上交通ネットワークの検討
事業主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 23 年度～
事業位置	<p>熱田区～三重県桑名市</p>  <p>The map shows the Kikuchi River flowing through the Nagoya area. Red dots mark the locations of Sanami (桑名) and Atsuta (熱田). Labels for Nagoya Castle (名古屋城) and Nagoya Port (名古屋港) are also present.</p>
事業概要	<p>中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。</p> <p>熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。</p>  <p>宮の渡し公園（熱田）</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>宮の渡し公園には、東海道の宿場町であった熱田の面影を感じさせる常夜灯などが復元されている。東海道唯一の海路であった熱田から桑名までの舟運を現代に復活させることで、かつての往来に思いを馳せながら、水上観光を楽しむことができ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	「ものづくり文化の道」推進事業
整備主体	名古屋市、「ものづくり文化の道」推進協議会
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 13 年度～
事業位置	西区南部
事業概要	<p>名古屋駅北東に位置する西区の南部地域(概ね美濃路以南)を『ものづくり文化の道』とし、ものづくりを中心としたこの地域の魅力を産業観光、産業振興、商店街の活性化といった産業面のみならず、歴史的な価値を有する建造物や町並みの保存・活用を図りながら高め、その魅力を地域の内外に発信し、人の流れを呼び込み、地域を活性化していく。</p>  <p style="text-align: center;">ものづくり文化の館の様子</p> <p>「職人の技と産業」を伝えるため、平成 14 年度からは、円頓寺七夕まつりや西区区民まつりで職人の技を間近に見ることができる「ものづくり文化の館」を継続実施している。</p> <p>また、「ものづくり文化の道」推進協議会では、平成 21 年度から、ものづくり文化の道情報発信空間「ナゴノスペース」の運営を通じて、情報発信等を行っている。</p> <p>現地でガイドを行う団体としては、「ものづくり文化の道」マイスターの会、屋根神文化フォーラムがあり、四間道の歴史的な町並みや屋根神などの案内を行っている。</p> <p>今後も上記のような取組みを行いながら、「ものづくり文化の道」のPRを進めていく。</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>ものづくり文化の道の一角には、四間道の町並みがあり、清須越商人の活躍にルーツを持つ町並みと地域の伝統的な営みが歴史的風致を形成している。</p> <p>ものづくり文化の道の取組みを推進することで、四間道の歴史的町並みの保存とあわせて、まちの魅力向上と活性化が図られ、四間道界隈の歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業
整備主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 25 年度～
事業位置	中区
事業概要	<p>およそ 400 年前の清須越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働して発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。</p> <p>中區に転入された方や、中區の成り立ち・歴史・文化にあまり関心のない方に対しても中區の隠れた魅力を発信していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堀川文化の魅力を伝える講演会を実施する。</li> <li>・中區内の歴史的建造物などを巡る「歩こう会」を実施する。</li> <li>・小学生向け旧町名伝承講座を実施する。</li> <li>・転入者向けに発行するパンフレットに中區の歴史を紹介するページを作成する。</li> <li>・中區の隠れた魅力などを投稿していただき、中區の魅力を紹介するコーナー（中區ホームページ内）を充実する。</li> </ul>  <p style="text-align: center;">小学校での講座の様子</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>中區は、名古屋城と名古屋城下の大部分を含み、碁盤割や本町通などの歴史的資源を多く抱えているが、近代化や戦災復興を経て、歴史が見えづらくなっている部分もある。市民とともに歴史・文化を発信していくことは、地域の歴史の見える化や次世代への継承につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	熱田区役所における歴史資料展示
事業主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成 22 年度～
事業位置	<p>熱田区役所（重点区域：熱田地区）</p> 
事業概要	<p>熱田区では、区役所 1 階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、市民から寄贈された歴史資料を展示している。</p> <p>展示資料の中心は、熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が30年余の歳月を費やして収集された約1,200点の貴重な歴史的資料（錦絵、地図など）で、昭和59年6月の熱田社会教育センター（現 熱田生涯学習センター）の開館にあたり、名古屋市（熱田社会教育センター）に寄贈されたものである。</p> <p>熱田区歴史資料展示コーナーは、市民ボランティアとの協働で運営されており、今後も定期的な資料の入れ替えなどを行っていく。</p>  <p style="text-align: center;">熱田区歴史資料展示コーナー</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>熱田は、熱田神宮の門前町、東海道の宿場町、湊町など様々な性格をあわせ持ちながら発展したまちである。地域に残された史料を現地で展示することで、熱田区の歴史の理解に役立ち、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	名古屋まつり
整備主体	名古屋まつり協進会（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所）
支援事業名	市単独事業 ※名古屋市分のみ
事業期間	昭和 30 年度～
事業位置	<p>大津通、広小路通、久屋大通公園ほか、市内各所</p>  <p>行列のルート</p> <p>久屋大通公園会場</p>
事業概要	<p>名古屋まつりは、昭和 30 年に、戦災からの復興と隆昌を祝して始まった名古屋の秋を彩る一大イベントで、例年約 200 万人の来場者を集めて行われている。まつりは、名古屋市などで構成される名古屋まつり協進会によって運営されている。</p> <p>まつりのメインとなる豪華絢爛な行列では、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三英傑が約 650 人を従えて行進する郷土英傑行列のほか、歴史と伝統に彩られた市指定文化財「山車」揃や市文化財「神楽」揃、華やかなフラワーカーなどが登場する。</p> <p>また、名古屋を代表する無形文化財・無形民俗文化財が一堂に会する郷土芸能祭や名古屋市の姉妹友好都市に関する催しなどの多彩な会場行事、名古屋城・東山動植物園などの無料開放も行っている。</p>  <p>郷土英傑行列</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>戦災復興を祝して昭和 30 年に始まった名古屋まつりは、半世紀以上続くまつりそのものが歴史的風致であるとともに、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い。名古屋まつりの開催は、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

事業名	山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業
整備主体	国、愛知県、名古屋市、所有者
支援事業名	市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費関係国庫補助
事業期間	昭和 47 年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	<p>指定文化財である山車祭り、棒の手、香道など地域の民俗芸能・伝統行事の継承事業やそれらで用いる山車などの保存修理事業に対して補助金を交付する。</p> <p>また、埋蔵文化財の保護について市民の理解と関心を得るため、図書館などの市民利用施設の空きスペースを利用し、市内遺跡から出土した遺物を展示し、公開活用する。</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>指定文化財である地域の民俗芸能・伝統行事の継承等について補助することで地域の貴重な文化財を後世に伝承するとともに、わくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業を行うことで埋蔵文化財に対する関心が高まり、ひいては歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>



事業名	伝統産業若手育成事業助成
事業主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成5年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	本市の伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内に残る伝統産業の若手技術者を育成することにより、技術を受け継ぐ担い手を確保し、次世代への継承を支援していくことにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	伝統産業新商品開発事業助成
事業主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成5年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内に残る伝統産業について、新商品の開発への支援を行い、伝統産業の振興や次世代への継承を促すことにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	伝統産業製品PR事業助成
事業主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成14年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内に残る伝統産業のPRの支援を通じて、市民の伝統産業に対する理解を深め、後世への継承へと繋げていくことにより歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	名古屋市民芸術祭
事業主体	名古屋市民芸術祭実行委員会（名古屋市・公益財団法人名古屋市文化振興事業団・文化関係者等）
支援事業名	市単独事業
事業期間	平成2年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。参加公演は、伝統芸能などの4部門で参加を募って行われる。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	名古屋の伝統文化について、市民にイベントを通じ身近に触れてもらう機会を設けることにより、市民の伝統文化に対する理解を深め、後世への継承へと繋げていくことにより歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	なごや子どものための巡回劇場
事業主体	子どものための芸術劇場実行委員会（名古屋市・公益財団法人名古屋市文化振興事業団・学識経験者等）
支援事業名	市単独事業
事業期間	昭和 55 年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	次代を担う子ども(児童・幼児)たちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で気軽に楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	名古屋の伝統文化について、市民にイベントを通じ身近に触れてもらう機会を設けることにより、市民の伝統文化に対する理解を深め、後世への継承へと繋げていくことにより歴史的風致の維持向上に寄与する。

事業名	名古屋市芸術文化団体活動助成
事業主体	名古屋市
支援事業名	市単独事業
事業期間	昭和 48 年度～
事業位置	名古屋市内
事業概要	伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内に残る伝統文化について、活動の支援を行い、伝統芸能の振興や次世代への継承を促すことにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。